

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 8月 7日

議 会 議 長 様

議席番号 14 番

議員氏名 平 川 忠 良

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. ペットボトル キャップ回収 事業の推進を	<p>飲料などの容器として多用されているペットボトルですが、本体部分の多くはリサイクル（87%）されている一方、キャップはプラスチックごみとして処理され、リサイクル率は推定で10%にとどまっています。</p> <p>8月4日、春日部市にあるペットボトルキャップのリサイクル工場の視察に行ってきました。収集・選別をし、年間3300トン（約14億個）の再原料化（ペレット）を行っており、日本一だそうです。焼却した場合と比べてキャップ1個当たり、5.7グラムのCO2の削減、また、キャップ860個（約2kg）約20円で、一人分のポリオワクチン代になり、「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付を行っています。</p> <p>現在、杉戸町内では、杉戸町社会福祉協議会と杉戸小学校がペットボトルキャップを回収し、世界の子どもにワクチンをおくる運動に参加しています。そこで伺います。</p> <p>(1)杉戸町社会福祉協議会と杉戸小学校で実施しているペットボトルキャップ回収事業の現状は。</p> <p>(2)課題はあるのか。</p> <p>(3)令和6年4月1日に杉戸町ゼロカーボンシティ宣言を行ったが、令和7年度の取組は。</p>	町長 副町長 教育長 環境課長 福祉課長 学校教育課長 担当課長

8月 7日 午前・午後 0時39分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>2. 杉戸町の移住・定住促進は</p>	<p>(4) 宮代町では、2050年のゼロカーボンシティの実現に向けた取組を加速させる官民連携の「宮代町ゼロカーボン推進協議会」を2024年10月に設立し、推進を図っている。杉戸町でも推進協議会を設立する考えは。</p> <p>(5) ゼロカーボンシティを推進する一つとして、CO2削減、リサイクルの推進、そして子どもワクチン支援活動に参加できるペットボトルキャップ回収事業を提案するが、町の見解は。</p> <p>(1) 移住・定住PR冊子「このまちで」が発行され、広報8月号で紹介された。この冊子の活用方法は。</p> <p>(2) 冊子の中で、「あるもの探しまち歩きツアー」がレポートされている。このツアーを継続する考えは。</p> <p>(3) 「あるもの探し缶バッジ」の活用、普及は。</p> <p>(4) 第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画（素案）「施策27 人を惹きつける魅力的なシティプロモーションの推進」から伺う。</p> <p>①「ホームページやSNSをはじめとする各種メディアを活用したプロモーションを強化」とあるが、具体的な取組は。</p> <p>②「町内外の若い世代や子育て世帯に対して、「住みたい町」「住み続けたい町」となるようにプロモーションを実施」とあるが、具体的な取組は。</p>	<p>町長 副町長 総合政策課長 秘書広報課長 担当課長</p>